

## 2021年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社

コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役 執行役員会長兼社長（氏名）乙部 辰良

問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役員（氏名）大和田 徹 TEL 03(6229)0881

四半期報告書提出予定日 2020年11月17日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	40,626	25.9	2,184	122.8	773	247.0
2020年3月期中間期	32,279	2.3	980	49.9	222	8.8

（注）包括利益 2021年3月期中間期 2,164百万円 △36.1% 2020年3月期中間期 4,196百万円（-）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期中間期	31.16	—
2020年3月期中間期	9.77	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	183,119	43,755	23.8
2020年3月期	176,471	41,591	23.5

（参考）自己資本 2021年3月期中間期 43,632百万円 2020年3月期 41,476百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	13.5	3,700	56.8	700	108.8	28.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

本日公表の「2021年3月期の連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期中間期	24,820,530株	2020年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2021年3月期中間期	91株	2020年3月期	43株
③ 期中平均株式数（中間期）	2021年3月期中間期	24,820,463株	2020年3月期中間期	22,820,501株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	9
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

※ 当社は、2021年3月期中間期連結決算についての機関投資家・アナリスト向け説明会（電話会議）を2020年11月12日に開催する予定です。当説明会資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

1. 当中間期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（以下、当中間期）における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	対前年同四半期 増減率 (%)
経常収益	32,279	40,626	25.9
経常利益	980	2,184	122.8
親会社株主に帰属する中間 純利益	222	773	247.0

経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ8,346百万円増加し、40,626百万円（前年同期比25.9%増加）となりました。この増収効果に加えて損害保険事業における保険金支払いの減少等を受け、経常利益は前年同期に比べ1,204百万円増加し、2,184百万円（同122.8%増加）、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ550百万円増加し、773百万円（同247.0%増加）となりました。

なお、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者様を対象に、保険料の払込猶予期間の延長や、災害死亡保険金等の支払事由の範囲拡大、保険金請求手続きにおける必要書類の一部省略などの特別措置を実施するなど、企業の社会的責任を全うするにあたって必要な各種の取り組みを継続的に行っております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	経常収益			セグメント利益（経常利益）		
	中間連結会計期間		増減率 (%)	中間連結会計期間		増減率 (%)
	2020年3月期	2021年3月期		2020年3月期	2021年3月期	
損害保険事業	14,061	15,714	11.8	△125	561	—
生命保険事業	8,646	12,483	44.4	1,188	1,830	54.0
少額短期保険事業	9,667	12,557	29.9	260	104	△59.7
報告セグメント計	32,376	40,754	25.9	1,323	2,496	88.7
セグメント間消去又は調整	△96	△128	—	△342	△311	—
中間連結損益計算書 計上額	32,279	40,626	25.9	980	2,184	122.8

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

（損害保険事業）

主力商品である自動車保険において、新テレビCMのオンエア開始などにより販売プロモーションを強化したほか、これまでのYouTube広告などのデジタル広告の運用効率改善が功を奏し、従来からの強みとしてきた非対面チャネルの販売効率に一層の向上が見られました。また、SBIグループで推進する「地方創生」プロジェクトに沿って地域金融機関との協業にも積極的に取り組み、地域金融機関の口座保有者向けにがん保険の団体保険サービスを提供するなど、新たな顧客基盤開拓に向けた取り組みを推進しました。そのほか、耳や言葉の不自由なお客様向けに提供している手話・筆談サービスに文字チャットサービスを追加するなど、お客様の利便性を高めるサービスの拡充に努めました。こうした取り組みの結果、2020年9月末の保有契約件数は1,116千件（前年度末比2.3%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比11.8%増加の15,714百万円となりました。セグメント利益は、増収効果に加えて保険金支払いの減少等を受け、561百万円（前年同期は△125百万円）となりました。

(生命保険事業)

団体信用生命保険において、住信SBIネット銀行株式会社が提供する住宅ローンのご利用者様向けの販売が堅調に推移したことに加え、SBIグループの「地方創生」プロジェクトの一環として全国の地域金融機関との提携交渉に継続して取り組むなど、販売先の拡大に努めました。また、個人保険分野においては、インターネット販売などの非対面チャネルが引続き好調に推移したことに加え、緊急事態宣言の解除後は来店型ショップの来客数も徐々にその水準を回復し、販売に寄与しました。そのほか、スマートスピーカーAmazon Echoシリーズに搭載されるAlexa(アレクサ)を活用したサービスを提供開始するなど、新しい顧客体験の創出に向けた取り組みも推進しました。こうした取り組みの結果、2020年9月末の保有契約件数は214千件(前年度末比13.2%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が増加したことや、特別勘定資産運用益などの特別勘定(※)に係る経常収益の増加などにより、前年同期比44.4%増加の12,483百万円となりました。セグメント利益は、団体信用生命保険における保険料収入の増収が大きく寄与し、前年同期比54.0%増加の1,830百万円となりました。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

(少額短期保険事業)

2020年9月30日に、北海道を拠点に賃貸住宅入居者向けの家財保険を提供する常口セーフティ少額短期保険株式会社(以下、常口セーフティ少短)を子会社化しました。また、前年度に子会社化した日本アニマル倶楽部株式会社の社名をSBIプリズム少額短期保険株式会社へ商号変更するなど、SBIグループのシナジー発揮に向けた取り組みを推進しました。加えて、SBIリスタ少額短期保険株式会社では、株式会社オーディーエムが販売する木造建物用の制振ダンパー「ダイナコンティ」に1年間の地震補償を付帯するプランを共同開発したほか、SBI日本少額短期保険株式会社では、賃貸保証サービスを提供する株式会社オリコフォレントインシュアとの間で申込管理システムの連携を開始するなど、外部パートナー企業との提携による新サービスの開発・提供にも積極的に取り組みました。こうした取り組みの結果、2020年9月末の保有契約件数は常口セーフティ少短の保有契約件数を含め913千件(前年度末比14.0%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比29.9%増加の12,557百万円となりました。一方、セグメント利益は、前年同期に比べのれん償却額が増加したことなどにより、前年同期比59.7%減少の104百万円となりました。

なお、常口セーフティ少短の経営成績については、当中間期の末日に同社を連結の範囲に含めているため、当中間期の当社グループの経営成績には含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、183,119百万円（前年度末比6,648百万円増加）となりました。主な勘定残高は、有価証券122,102百万円（同4,197百万円増加）、現金及び預貯金30,168百万円（同2,392百万円増加）であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、139,363百万円（同4,484百万円増加）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金126,219百万円（同3,980百万円増加）であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、43,755百万円（同2,164百万円増加）となりました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加1,382百万円及び親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が773百万円増加したことあります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8,474百万円増加し、35,512百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、保険金、年金、解約返戻金等の保険契約上の支払金や事業費等に係る支出を上回る保険料の収入により、5,109百万円の収入超過（前年同期は1,020百万円の支出超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券の売却及び償還が有価証券の取得を上回ったことにより、3,378百万円の収入超過（前年同期は5,652百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出により0百万円の支出超過（前年同期は0百万円の支出超過）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、本日（2020年11月12日）公表の「2021年3月期の連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当中間連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	27,775	30,168
買入金銭債権	797	6,596
金銭の信託	2,489	205
有価証券	117,904	122,102
貸付金	247	155
有形固定資産	536	537
建物	266	277
リース資産	39	34
その他の有形固定資産	230	225
無形固定資産	8,046	8,017
ソフトウェア	3,766	3,819
のれん	3,359	3,318
その他の無形固定資産	920	879
代理店貸	154	92
再保険貸	4,230	3,986
その他資産	12,589	9,506
繰延税金資産	107	153
支払承諾見返	1,600	1,600
貸倒引当金	△7	△4
資産の部合計	176,471	183,119
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	122,239	126,219
支払備金	16,930	17,423
責任準備金	103,485	107,298
契約者配当準備金	1,823	1,496
代理店借	312	208
再保険借	3,686	4,233
その他負債	5,734	5,208
退職給付に係る負債	37	34
価格変動準備金	623	673
繰延税金負債	647	1,186
支払承諾	1,600	1,600
負債の部合計	134,879	139,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	1,902	2,676
自己株式	△0	△0
株主資本合計	42,338	43,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△862	520
その他の包括利益累計額合計	△862	520
新株予約権	21	21
非支配株主持分	93	101
純資産の部合計	41,591	43,755
負債及び純資産の部合計	176,471	183,119

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	32,279	40,626
損害保険事業	14,018	15,646
保険引受収益	13,576	15,449
正味収入保険料	12,771	15,441
積立保険料等運用益	7	7
責任準備金戻入額	797	—
資産運用収益	379	160
利息及び配当金収入	366	78
金銭の信託運用益	16	4
売買目的有価証券運用益	0	66
有価証券償還益	—	7
その他運用収益	2	10
積立保険料等運用益振替	△7	△7
その他経常収益	62	36
生命保険事業	8,635	12,469
保険料等収入	5,030	7,198
保険料	4,276	5,675
再保険収入	753	1,523
資産運用収益	2,166	4,956
利息及び配当金等収入	1,239	1,138
有価証券売却益	514	881
有価証券償還益	—	0
金融派生商品収益	161	—
貸倒引当金戻入額	—	2
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	251	2,933
その他経常収益	1,438	314
少額短期保険事業	9,625	12,510
保険料等収入	9,496	12,244
資産運用収益	0	0
その他経常収益	128	265
経常費用	31,299	38,441
損害保険事業	14,119	15,094
保険引受費用	10,401	11,101
正味支払保険金	9,099	8,469
損害調査費	1,779	1,852
諸手数料及び集金費	△1,301	△1,291
支払備金繰入額	823	781
責任準備金繰入額	—	1,288
その他保険引受費用	—	0
資産運用費用	35	21
その他運用費用	35	21
営業費及び一般管理費	3,671	3,964
その他経常費用	10	7



(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
生命保険事業	7,455	10,643
保険金等支払金	5,353	6,191
保険金	1,014	1,166
年金	706	428
給付金	510	495
解約返戻金	1,600	1,638
その他返戻金	603	682
再保険料	917	1,779
責任準備金等繰入額	—	2,398
責任準備金繰入額	—	2,398
資産運用費用	247	51
支払利息	1	1
有価証券売却損	9	3
金融派生商品費用	—	0
為替差損	170	9
貸倒引当金繰入額	43	—
その他運用費用	21	36
事業費	1,786	1,884
その他経常費用	68	117
少額短期保険事業	9,391	12,397
保険金等支払金	5,538	7,696
責任準備金等繰入額	51	129
事業費	3,767	4,549
その他経常費用	33	22
その他	332	306
経常利益	980	2,184
特別損失	56	51
固定資産等処分損	6	0
価格変動準備金繰入額	50	50
契約者配当準備金繰入額	618	988
税金等調整前中間純利益	305	1,144
法人税及び住民税等	208	327
法人税等調整額	△124	41
法人税等合計	84	369
中間純利益	220	775
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△2	1
親会社株主に帰属する中間純利益	222	773

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
中間純利益	220	775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,975	1,388
その他の包括利益合計	3,975	1,388
中間包括利益	4,196	2,164
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,199	2,155
非支配株主に係る中間包括利益	△3	8

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,236	30,922	1,567	—	39,725
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			222		222
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	222	△0	222
当中間期末残高	7,236	30,922	1,790	△0	39,948

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	△1,407	△1,407	21	111	38,450
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益					222
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	3,976	3,976	—	△3	3,973
当中間期変動額合計	3,976	3,976	—	△3	4,196
当中間期末残高	2,568	2,568	21	107	42,646

当中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	1,902	△0	42,338
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益			773		773
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	773	△0	773
当中間期末残高	8,375	32,061	2,676	△0	43,112

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△862	△862	21	93	41,591
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する中間純利益					773
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	1,382	1,382	—	8	1,390
当中間期変動額合計	1,382	1,382	—	8	2,164
当中間期末残高	520	520	21	101	43,755

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	305	1,144
減価償却費	567	677
のれん償却額	56	92
支払備金の増減額(△は減少)	704	491
責任準備金の増減額(△は減少)	△2,086	3,721
契約者配当準備金繰入額(△は戻入額)	618	988
貸倒引当金の増減額(△は減少)	43	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△2
価格変動準備金の増減額(△は減少)	50	50
利息及び配当金等収入	△1,606	△1,217
金銭の信託関係損益(△は益)	△16	△4
有価証券関係損益(△は益)	△505	△952
金融派生商品損益(△は益)	△161	0
支払利息	1	1
為替差損益(△は益)	198	23
有形固定資産関係損益(△は益)	6	0
特別勘定資産運用損益(△は益)	△251	△2,933
代理店貸の増減額(△は増加)	76	61
再保険貸の増減額(△は増加)	343	265
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	1,407	3,050
代理店借の増減額(△は減少)	△111	△124
再保険借の増減額(△は減少)	△282	527
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△1,134	△781
その他	1	8
小計	△1,776	5,087
利息及び配当金の受取額	1,700	1,297
利息の支払額	△1	△1
契約者配当金の支払額	△697	△1,315
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△245	40
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,020	5,109

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預貯金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
買入金銭債権の売却・償還による収入	—	200
金銭の信託の増加による支出	△2	△134
金銭の信託の減少による収入	—	2,425
有価証券の取得による支出	△8,288	△5,455
有価証券の売却・償還による収入	6,798	7,045
貸付けによる支出	△29	△5
貸付金の回収による収入	81	98
資産運用活動計	△1,441	4,174
営業活動及び資産運用活動計	△2,461	9,283
有形固定資産の取得による支出	△113	△62
無形固定資産の取得による支出	△904	△758
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,192	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,652	3,378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,684	8,474
現金及び現金同等物の期首残高	26,848	27,038
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,163	35,512

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、SBI損害保険株式会社、SBI生命保険株式会社、及び少額短期保険会社5社の持株会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社を直接の子会社とする保険持株会社であり、これらの会社の経営管理等を行っております。傘下の子会社は、保険業法等の業種特有の規制環境の下にあり、各子会社においてそれぞれの経営戦略等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は傘下の子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「損害保険事業」、「生命保険事業」、及び「少額短期保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

- (1) 「損害保険事業」は損害保険業を行っており、SBI損害保険株式会社1社で構成されております。
- (2) 「生命保険事業」は生命保険業を行っており、SBI生命保険株式会社1社で構成されております。
- (3) 「少額短期保険事業」は少額短期保険業を行っており、SBI少短保険ホールディングス株式会社、SBIいきいき少額短期保険株式会社、SBI日本少額短期保険株式会社、SBIリスタ少額短期保険株式会社、SBIプリズム少額短期保険株式会社(旧商号：日本アニマル倶楽部株式会社)及び常口セーフティ少額短期保険株式会社の6社で構成されております。なお、常口セーフティ少額短期保険株式会社については、株式を取得したことにより新たに子会社となったため、2020年9月30日より連結の範囲に含めております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部経常収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	14,018	8,635	9,625	32,279	—	32,279
セグメント間の内部経常収益又は振替高	43	10	42	96	△96	—
計	14,061	8,646	9,667	32,376	△96	32,279
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	△125	1,188	260	1,323	△342	980
セグメント資産	45,898	124,002	11,453	181,354	△3,772	177,581
その他の項目						
減価償却費	455	51	56	563	3	567
のれんの償却額	—	—	56	56	—	56
利息及び配当金等収入	385	1,246	0	1,632	△25	1,606
支払利息	7	1	18	27	△25	1
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	734	168	3,918	4,821	60	4,882

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△342百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。
- (2) セグメント資産の調整額△3,772百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,439百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産666百万円であります。
- (3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	15,646	12,469	12,510	40,626	—	40,626
セグメント間の内部経常収益又は振替高	67	13	46	128	△128	—
計	15,714	12,483	12,557	40,754	△128	40,626
セグメント利益 (注) 3	561	1,830	104	2,496	△311	2,184
セグメント資産	49,893	122,557	12,585	185,036	△1,917	183,119
その他の項目						
減価償却費	498	89	85	672	5	677
のれんの償却額	—	—	92	92	—	92
利息及び配当金等収入	112	1,146	0	1,259	△41	1,217
支払利息	7	1	34	43	△41	1
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	471	155	114	742	1	743

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△311百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。
- (2) セグメント資産の調整額△1,917百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,408百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,491百万円であります。
- (3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。